

※開講学年前期後期欄 { ○○-前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄-開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												資格		備考		
			1年			2年			3年			4年			必修				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位					
教育職員免許状の教科に関する科目	工業技術概論	半期													●		2	◆必修	
	工学系の職業指導	半期													●		2	◆必修	
	電気電子系の職業指導	半期													●		2	◆必修	
教職等に関する科目	現代教職論	半期			2													◆必修	
	教育基礎論	半期	●		2													◆必修	
	教育の制度と経営	半期		●	2													◆必修	
	教育心理学	半期						2										◆必修	
	教育課程論	半期				●		2										◆必修	
	教育の方法と技術	半期						2										◆必修	
	教育相談の理論と方法	半期						2										◆必修	
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2										◆必修	
	工業科教育法(概論・理論)	半期							●		2							◆必修	
	工業科教育法(実践・応用)	半期								●	2							◆必修	
	特別支援教育論	半期									2							◆必修	
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2							◆必修	
	教育実習Ⅰ	通年															3	◆必修	
	教職実践演習(中・高)	半期													●		2	◆必修	

卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	38
		知的基礎	10	
	学科教養科目	人文社会	10	
		自然科学	8	
地域教育科目		2		
外国語科目	第1類(必修)	4		
学部共通専門科目		28		
学科専門科目	基礎科目		26	52
	基盤科目	第1類	8	
		第2類	4	
応用科目		10		
教養教育科目、地域教育科目、外国語科目第1類～第2類、保健体育科目、他学部・他学科開講専門教育科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目 (合計8単位まで)				
卒業単位			124	

4年次進級に必要な最低修得単位数

教養教育科目及び地域教育科目	40
外国語科目第1類～第2類	
学部共通専門科目	22
学科専門科目 (以下の必修科目を含むこと)	38
1 電気・電子工学実験Ⅰ	
2 電気・電子工学実験Ⅱ	
3 電気・電子工学実験Ⅲ	
4 電気・電子工学実験Ⅳ	
進級単位	100

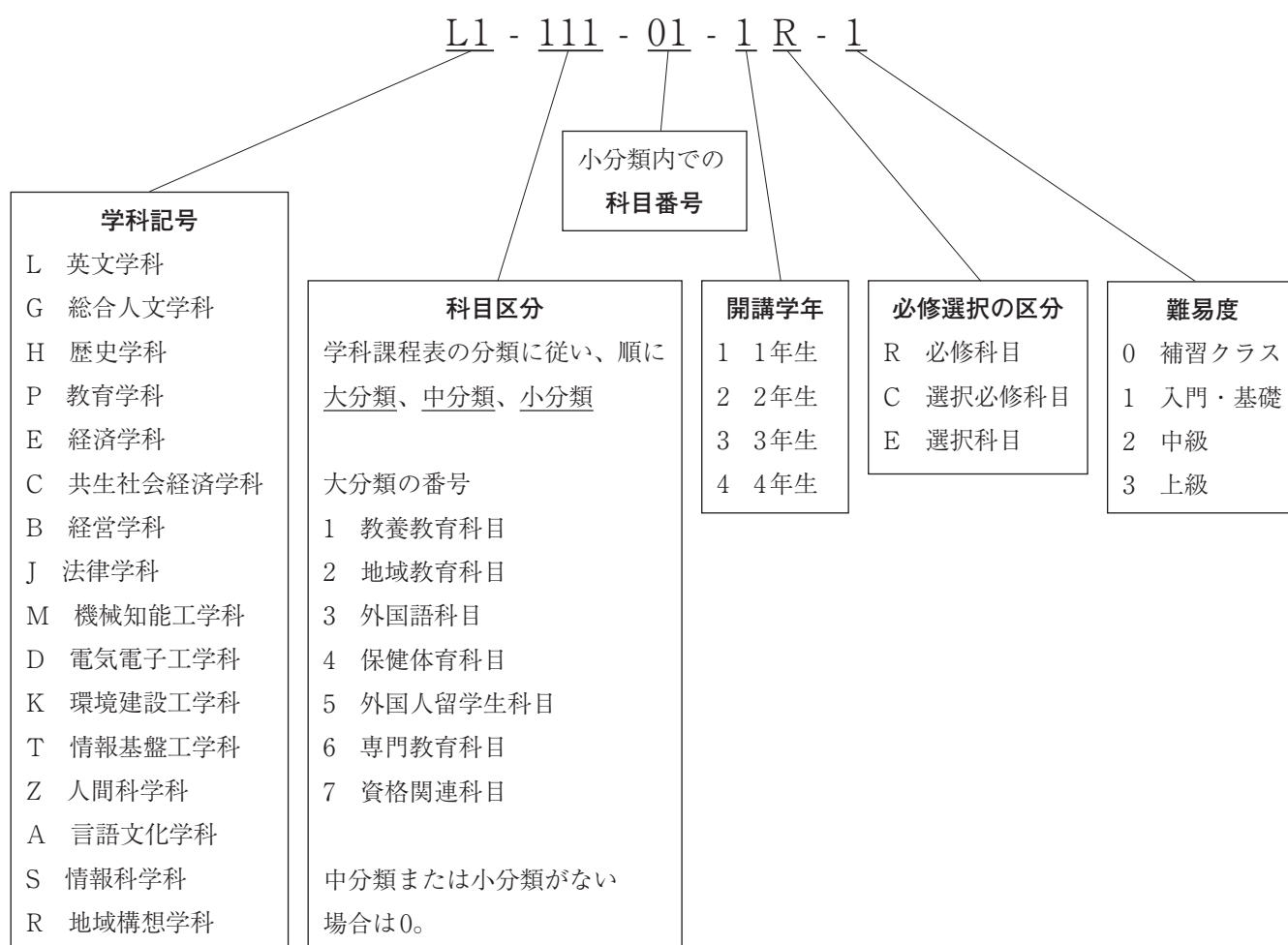
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、学生の皆さんが考慮する必要はありません。

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
D0-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
D0-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
D0-111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○		
D0-111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○		
D0-111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○		
D0-111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○		
D0-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎		
D0-111-08-1E-1	地球社会を生きる			◎		
D0-111-09-1E-1	科学技術社会を生きる			◎		
D0-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎		
D0-112-01-1E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
D0-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
D0-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
D0-112-04-1E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
D0-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
D0-112-06-1E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
D0-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎			
D0-112-08-2E-1	研究・発表の技法		◎			
D0-121-01-2E-1	哲学			◎		○
D0-121-02-1E-1	芸術論			◎		○
D0-121-03-2E-1	歴史学			◎		○
D0-121-04-2E-1	心理学			◎		○
D0-121-05-2E-1	社会学			◎		○
D0-121-06-2E-1	経済学			◎		○
D0-121-07-2E-1	経営学			◎		○
D0-121-08-2E-1	法学			◎		○
D0-121-09-1E-1	日本国憲法			◎		○
D0-121-10-2E-1	東北地域論			◎		○
D0-121-11-3E-1	東北学院の歴史	○		◎		
D0-122-01-2E-1	健康の科学			◎		○
D0-122-02-1E-1	生命の科学			◎		○
D0-122-03-1R-1	情報リテラシー			◎		○
D0-122-04-1R-1	フレッシュパーソンセミナー				◎	○
D0-122-05-1E-1	基礎数学演習				◎	○
D0-122-06-1E-1	基礎物理演習				◎	○
D0-122-07-1E-1	基礎化学演習				◎	○
D0-122-08-1E-1	技術者倫理			◎		○
D0-122-09-3E-1	知的所有権			◎		○
D0-200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
D0-200-02-2R-1	地域の課題 I					◎
D0-200-03-2E-1	地域の課題 II					◎
D0-200-04-3E-2	地域課題演習					◎
D0-310-01-1R-1	英語 I A		◎	○		
D0-310-02-1R-1	英語 I B		◎	○		
D0-310-03-2R-2	英語 II A		◎	○		
D0-310-04-2R-2	英語 II B		◎	○		
D0-310-05-2E-2	英語コミュニケーションズ		◎	○		
D0-320-01-1E-1	ドイツ語		◎	○		
D0-320-02-1E-1	フランス語		◎	○		
D0-320-03-1E-1	中国語		◎	○		
D0-320-04-1E-1	韓国・朝鮮語		◎	○		
D0-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎			
D0-330-02-3E-3	英語 III		◎	○		
D0-400-01-1E-1	体育講義			◎		
D0-400-02-1E-1	スポーツ実技			◎		
D0-510-01-1E-1	日本事情 A		◎	○		
D0-510-02-1E-1	日本事情 B		◎	○		
D0-510-03-1E-1	日本事情 C		◎	○		
D0-520-01-1E-1	日本語 I A		◎	○		
D0-520-02-2E-2	日本語 I B		◎	○		
D0-520-03-1E-1	日本語 II A		◎	○		
D0-520-04-2E-2	日本語 II B		◎	○		

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
D0-610-01-1R-1	物理学 I		◎	○		
D0-610-02-2E-2	物理学 II		◎	○		
D0-610-03-1R-1	微積分学 I		◎	○		
D0-610-04-1R-2	微積分学 II		◎	○		
D0-610-05-1R-1	線形代数学		◎	○		
D0-610-06-1E-1	自然科学実験ファンダメンタルズ		◎	○		
D0-610-07-2E-2	微分方程式		◎	○		
D0-610-08-2E-2	フーリエ解析		◎	○		
D0-610-09-2E-2	確率統計学		◎	○		
D0-610-10-1R-1	プログラミング基礎		○		◎	
D0-610-11-2E-2	プログラミング応用		○		◎	
D0-610-12-3E-2	工業英語		◎		○	
D0-610-13-2R-2	工学総合演習 I				○	◎
D0-610-14-3R-2	工学総合演習 II				○	◎
D0-610-15-3R-2	ジュニアセミナー				○	◎
D0-610-16-4R-1	卒業研究 I				○	◎
D0-610-17-4R-2	卒業研究 II				○	◎
D0-610-18-3E-1	学外見学			○	◎	
D0-610-19-3E-1	インターンシップ				○	◎
D0-610-20-3E-1	キャリア・デザイン				○	◎
D0-610-21-2E-2	海外研究 I			○		◎
D0-610-22-2E-2	海外研究 II			○		◎
D0-620-01-2R-2	電磁気学 I		○		◎	
D0-620-02-2R-2	電磁気学演習 I		○		◎	
D0-620-03-2R-2	電磁気学 II		○		◎	
D0-620-04-2E-2	電磁気学演習 II		○		◎	
D0-620-05-2R-2	電気回路学 I		○		◎	
D0-620-06-2R-2	電気回路学演習 I		○		◎	
D0-620-07-2R-2	電気回路学 II		○		◎	
D0-620-08-2E-2	電気回路学演習 II		○		◎	
D0-620-09-1R-1	電力・制御基礎工学		○		◎	
D0-620-10-1R-1	情報・通信基礎工学		○		◎	
D0-620-11-1R-1	電子・材料基礎工学		○		◎	
D0-620-12-3E-2	アナログ電子回路学		○		◎	
D0-620-13-3E-2	デジタル電子回路学		○		◎	
D0-620-14-2E-2	電気・電子基礎計測		○		◎	
D0-620-15-2R-1	電気・電子工学実験 I		○		◎	
D0-620-16-2R-1	電気・電子工学実験 II		○		◎	
D0-620-17-3R-2	電気・電子工学実験 III		○		◎	
D0-620-18-3R-2	電気・電子工学実験 IV		○		◎	
D0-631-01-2E-2	ベクトル解析		○		◎	
D0-631-02-4E-2	電波法		○		◎	
D0-631-03-4E-2	通信システム概論		○		◎	
D0-631-04-4E-2	電気法規及び施設管理		○		◎	
D0-631-05-4E-2	電気機械設計製図		○		◎	
D0-632-01-3E-2	制御工学		○		◎	
D0-632-02-3E-2	システム工学		○		◎	
D0-632-03-2E-2	ハードウェア工学		○		◎	
D0-632-04-3E-2	ソフトウェア工学		○		◎	
D0-632-05-2E-2	電子物性工学		○		◎	
D0-632-06-3E-2	電子機械工学		○		◎	
D0-641-01-3E-3	電磁エネルギー変換工学		○		◎	
D0-641-02-3E-3	パワーエレクトロニクス		○		◎	
D0-641-03-3E-3	高電圧工学		○		◎	
D0-641-04-3E-3	電力発生工学		○		◎	
D0-641-05-3E-3	電力系統工学		○		◎	
D0-641-06-4E-3	電力応用工学		○		◎	
D0-642-01-3E-3	情報通信工学		○		◎	
D0-642-02-3E-3	電磁波工学		○		◎	
D0-642-03-3E-3	音響通信工学		○		◎	
D0-642-04-3E-3	画像処理工学		○		◎	
D0-642-05-4E-3	ネットワークプログラミング		○		◎	
D0-642-06-3E-3	デジタル信号処理		○		◎	
D0-643-01-3E-3	固体物性工学		○		◎	
D0-643-02-3E-3	電気電子材料工学		○		◎	
D0-643-03-3E-3	ナノテクノロジー工学		○		◎	
D0-643-04-3E-3	電子デバイス工学		○		◎	
D0-643-05-4E-3	集積デバイス工学		○		◎	
D0-643-06-3E-3	化学材料工学		○		◎	

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)			
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる
D0-650-01-1E-1	特別講義		◎	○	
D0-701-01-4R-2	工業技術概論			○	◎
D0-701-02-4R-2	工学系の職業指導			○	◎
D0-701-03-4R-2	電気電子系の職業指導			○	◎
D0-702-01-1R-1	現代教職論			◎	
D0-702-02-1R-1	教育基礎論			◎	
D0-702-03-1R-2	教育の制度と経営			◎	
D0-702-04-2R-2	教育心理学			◎	
D0-702-05-2R-2	教育課程論			◎	
D0-702-06-2R-2	教育の方法と技術			◎	
D0-702-07-2R-2	教育相談の理論と方法			◎	
D0-702-08-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎	
D0-702-09-3R-3	工業科教育法(概論・理論)			○	◎
D0-702-10-3R-3	工業科教育法(実践・応用)			○	◎
D0-702-11-3R-3	特別支援教育論			○	◎
D0-702-12-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○	◎
D0-702-13-4R-3	教育実習 I				○ ◎
D0-702-14-4R-3	教職実践演習(中・高)			○	◎

※開講学年前期後期欄 { ○○-前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄-開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												資格		備考
			1年			2年			3年			4年			必修		
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位			
教育職員免許状の教科に関する科目	工業技術概論	半期												●	2	◆必修	
	工学系の職業指導	半期												●	2	◆必修	
	電気電子系の職業指導	半期												●	2	◆必修	
教職等に関する科目	現代教職論	半期			2											◆必修	
	教育基礎論	半期	●		2											◆必修	
	教育の制度と経営	半期		●	2											◆必修	
	教育心理学	半期						2								◆必修	
	教育課程論	半期				●		2								◆必修	
	教育の方法と技術	半期						2								◆必修	
	教育相談の理論と方法	半期						2								◆必修	
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2								◆必修	
	工業科教育法(概論・理論)	半期							●		2					◆必修	
	工業科教育法(実践・応用)	半期								●	2					◆必修	
	特別支援教育論	半期									2					◆必修	
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2					◆必修	
	教育実習Ⅰ	通年													3	◆必修	
教職実践演習(中・高)	半期												●	2	◆必修		

卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	38
		知的基礎	10	
	学科教養科目	人文社会	10	
		自然科学	8	
地域教育科目		2		
外国語科目	第1類(必修)	4		
学部共通専門科目		28		
学科専門科目	基礎科目		26	52
	基盤科目	第1類	8	
		第2類		
応用科目		10		
教養教育科目、地域教育科目、外国語科目第1類～第2類、保健体育科目、他学部・他学科開講専門教育科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目 (合計8単位まで)				
卒業単位				124

4年次進級に必要な最低修得単位数

教養教育科目及び地域教育科目	40
外国語科目第1類～第2類	
学部共通専門科目	22
学科専門科目 (以下の必修科目を含むこと)	38
1 電気・電子工学実験Ⅰ	
2 電気・電子工学実験Ⅱ	
3 電気・電子工学実験Ⅲ	
4 電気・電子工学実験Ⅳ	
進級単位	100

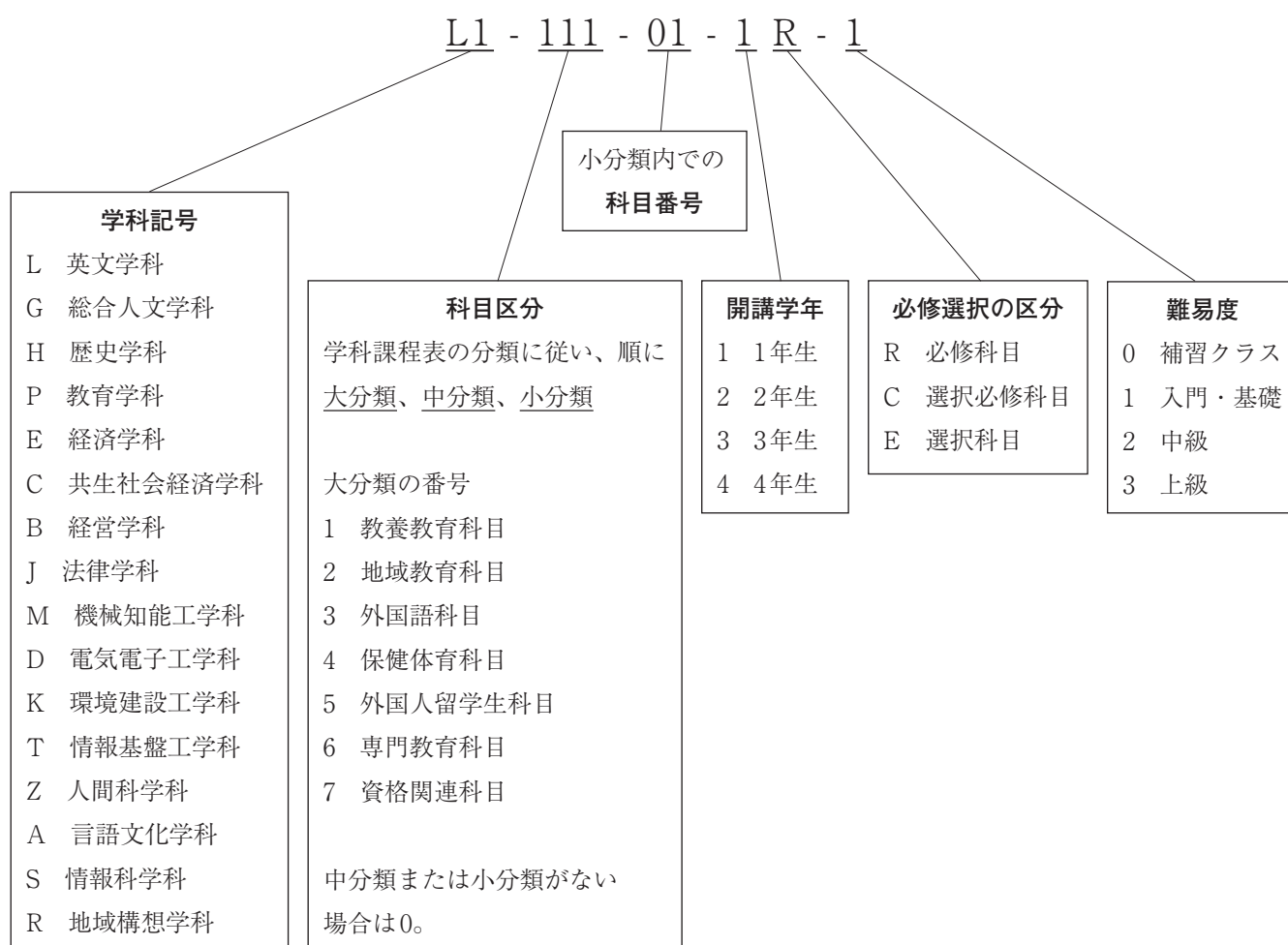
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、学生の皆さんが考慮する必要はありません。

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えが 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
D0-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
D0-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
D0-111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○		
D0-111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○		
D0-111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○		
D0-111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○		
D0-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎		
D0-111-08-1E-1	地球社会を生きる			◎		
D0-111-09-1E-1	科学技術社会を生きる			◎		
D0-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎		
D0-112-01-1E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
D0-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
D0-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
D0-112-04-1E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
D0-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
D0-112-06-1E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
D0-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎			
D0-112-08-2E-1	研究・発表の技法		◎			
D0-121-01-2E-1	哲学			◎		○
D0-121-02-1E-1	芸術論			◎		○
D0-121-03-2E-1	歴史学			◎		○
D0-121-04-2E-1	心理学			◎		○
D0-121-05-2E-1	社会学			◎		○
D0-121-06-2E-1	経済学			◎		○
D0-121-07-2E-1	経営学			◎		○
D0-121-08-2E-1	法学			◎		○
D0-121-09-1E-1	日本国憲法			◎		○
D0-121-10-2E-1	東北地域論			◎		○
D0-122-01-2E-1	健康の科学			◎		○
D0-122-02-1E-1	生命の科学			◎		○
D0-122-03-1R-1	情報リテラシー			◎		○
D0-122-04-1R-1	フレッシュパーソンセミナー				◎	○
D0-122-05-1E-1	基礎数学演習				◎	○
D0-122-06-1E-1	基礎物理演習				◎	○
D0-122-07-1E-1	基礎化学演習				◎	○
D0-122-08-1E-1	技術者倫理			◎		○
D0-122-09-3E-1	知的所有権			◎		○
D0-200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
D0-200-02-2R-1	地域の課題 I					◎
D0-200-03-2E-1	地域の課題 II					◎
D0-200-04-3E-2	地域課題演習					◎
D0-310-01-1R-1	英語 I A		◎	○		
D0-310-02-1R-1	英語 I B		◎	○		
D0-310-03-2R-2	英語 II A		◎	○		
D0-310-04-2R-2	英語 II B		◎	○		
D0-310-05-2E-2	英語コミュニケーションズ		◎	○		
D0-320-01-1E-1	ドイツ語		◎	○		
D0-320-02-1E-1	フランス語		◎	○		
D0-320-03-1E-1	中国語		◎	○		
D0-320-04-1E-1	韓国・朝鮮語		◎	○		
D0-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎			
D0-330-02-3E-3	英語 III		◎	○		
D0-400-01-1E-1	体育講義			◎		
D0-400-02-1E-1	スポーツ実技			◎		
D0-510-01-1E-1	日本事情 A		◎	○		
D0-510-02-1E-1	日本事情 B		◎	○		
D0-510-03-1E-1	日本事情 C		◎	○		
D0-520-01-1E-1	日本語 I A		◎	○		
D0-520-02-2E-2	日本語 I B		◎	○		
D0-520-03-1E-1	日本語 II A		◎	○		
D0-520-04-2E-2	日本語 II B		◎	○		

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察が できる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
D0-610-01-1R-1	物理学 I		◎	○		
D0-610-02-2E-2	物理学 II		◎	○		
D0-610-03-1R-1	微分積分学 I		◎	○		
D0-610-04-1R-2	微分積分学 II		◎	○		
D0-610-05-1R-1	線形代数学		◎	○		
D0-610-06-1E-1	自然科学実験ファンダメンタルズ		◎	○		
D0-610-07-2E-2	微分方程式		◎	○		
D0-610-08-2E-2	フーリエ解析		◎	○		
D0-610-09-2E-2	確率統計学		◎	○		
D0-610-10-1R-1	プログラミング基礎		○		◎	
D0-610-11-2E-2	プログラミング応用		○		◎	
D0-610-12-3E-2	工業英語		◎		○	
D0-610-13-2R-2	工学総合演習 I				○	◎
D0-610-14-3R-2	工学総合演習 II				○	◎
D0-610-15-3R-2	ジュニアセミナー				○	◎
D0-610-16-4R-1	卒業研究 I				○	◎
D0-610-17-4R-2	卒業研究 II				○	◎
D0-610-18-3E-1	学外見学			○	◎	
D0-610-19-3E-1	インターンシップ				○	◎
D0-610-20-3E-1	キャリア・デザイン				○	◎
D0-610-21-2E-2	海外研究 I			○		◎
D0-610-22-2E-2	海外研究 II			○		◎
D0-620-01-2R-2	電磁気学 I		○		◎	
D0-620-02-2R-2	電磁気学演習 I		○		◎	
D0-620-03-2R-2	電磁気学 II		○		◎	
D0-620-04-2E-2	電磁気学演習 II		○		◎	
D0-620-05-2R-2	電気回路学 I		○		◎	
D0-620-06-2R-2	電気回路学演習 I		○		◎	
D0-620-07-2R-2	電気回路学 II		○		◎	
D0-620-08-2E-2	電気回路学演習 II		○		◎	
D0-620-09-1R-1	電力・制御基礎工学		○		◎	
D0-620-10-1R-1	情報・通信基礎工学		○		◎	
D0-620-11-1R-1	電子・材料基礎工学		○		◎	
D0-620-12-3E-2	アナログ電子回路学		○		◎	
D0-620-13-3E-2	デジタル電子回路学		○		◎	
D0-620-14-2E-2	電気・電子基礎計測		○		◎	
D0-620-15-2R-1	電気・電子工学実験 I		○		◎	
D0-620-16-2R-1	電気・電子工学実験 II		○		◎	
D0-620-17-3R-2	電気・電子工学実験 III		○		◎	
D0-620-18-3R-2	電気・電子工学実験 IV		○		◎	
D0-631-01-2E-2	ベクトル解析		○		◎	
D0-631-02-4E-2	電波法		○		◎	
D0-631-03-4E-2	通信システム概論		○		◎	
D0-631-04-4E-2	電気法規及び施設管理		○		◎	
D0-631-05-4E-2	電気機械設計製図		○		◎	
D0-632-01-3E-2	制御工学		○		◎	
D0-632-02-3E-2	システム工学		○		◎	
D0-632-03-2E-2	ハードウェア工学		○		◎	
D0-632-04-3E-2	ソフトウェア工学		○		◎	
D0-632-05-2E-2	電子物性工学		○		◎	
D0-632-06-3E-2	電子機械工学		○		◎	
D0-641-01-3E-3	電磁エネルギー変換工学		○		◎	
D0-641-02-3E-3	パワーエレクトロニクス		○		◎	
D0-641-03-3E-3	高電圧工学		○		◎	
D0-641-04-3E-3	電力発生工学		○		◎	
D0-641-05-3E-3	電力系統工学		○		◎	
D0-641-06-4E-3	電力応用工学		○		◎	
D0-642-01-3E-3	情報通信工学		○		◎	
D0-642-02-3E-3	電磁波工学		○		◎	
D0-642-03-3E-3	音響通信工学		○		◎	
D0-642-04-3E-3	画像処理工学		○		◎	
D0-642-05-4E-3	ネットワークプログラミング		○		◎	
D0-642-06-3E-3	デジタル信号処理		○		◎	
D0-643-01-3E-3	固体物性工学		○		◎	
D0-643-02-3E-3	電気電子材料工学		○		◎	
D0-643-03-3E-3	ナノテクノロジー工学		○		◎	
D0-643-04-3E-3	電子デバイス工学		○		◎	
D0-643-05-4E-3	集積デバイス工学		○		◎	
D0-643-06-3E-3	化学材料工学		○		◎	

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
D0-650-01-1E-1	特別講義		◎	○		
D0-701-01-4R-2	工業技術概論			○	◎	
D0-701-02-4R-2	工学系の職業指導			○	◎	
D0-701-03-4R-2	電気電子系の職業指導			○	◎	
D0-702-01-1R-1	現代教職論			◎		
D0-702-02-1R-1	教育基礎論			◎		
D0-702-03-1R-2	教育の制度と経営			◎		
D0-702-04-2R-2	教育心理学			◎		
D0-702-05-2R-2	教育課程論			◎		
D0-702-06-2R-2	教育の方法と技術			◎		
D0-702-07-2R-2	教育相談の理論と方法			◎		
D0-702-08-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎		
D0-702-09-3R-3	工業科教育法(概論・理論)			○	◎	
D0-702-10-3R-3	工業科教育法(実践・応用)			○	◎	
D0-702-11-3R-3	特別支援教育論			○	◎	
D0-702-12-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○	◎	
D0-702-13-4R-3	教育実習 I				○	◎
D0-702-14-4R-3	教職実践演習(中・高)			○		◎

※開講学年前期後期欄 { ○○-前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄-開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												資格		備考		
			1年			2年			3年			4年			必修				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位					
教育職員免許状の教科に関する科目	工業技術概論	半期													●		2	◆必修	
	工学系の職業指導	半期													●		2	◆必修	
	電気電子系の職業指導	半期														●	2	◆必修	
教職等に関する科目	現代教職論	半期	●		2													◆必修	
	教育原理	通年	●	●	4													◆必修	
	教育心理学	半期					●	2										◆必修	
	教育課程論	半期				●		2										◆必修	
	教科教育法Ⅰ（工業）	半期							●		2							◆必修	
	教科教育法Ⅲ（工業）	半期								●	2							◆必修	
	特別活動の理論と方法	半期							●		2							◆必修	
	教育方法	半期					●	2										◆必修	
	教育の相談と指導Ⅰ	半期				●		2										◆必修	
	教育の相談と指導Ⅱ	半期					●	2										◆必修	
	教育実習Ⅰ	通年											●	●	3			◆必修	
教職実践演習（中・高）	半期												●	2			◆必修		

卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	38
		知的基礎	10	
	学科教養科目	人文社会	10	
		自然科学	8	
地域教育科目		2		
外国語科目	第1類（必修）	4		
学部共通専門科目		28		
学科専門科目	基礎科目	26	52	
	基盤科目	第1類		8
		第2類		
応用科目	10			
教養教育科目、地域教育科目、外国語科目第1類～第2類、保健体育科目、他学部・他学科開講専門教育科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目 (合計8単位まで)				
卒業単位			124	

4年次進級に必要な最低修得単位数

教養教育科目及び地域教育科目	40
外国語科目第1類～第2類	
学部共通専門科目	22
学科専門科目 (以下の必修科目を含むこと)	38
1 電気・電子工学実験Ⅰ	
2 電気・電子工学実験Ⅱ	
3 電気・電子工学実験Ⅲ	
4 電気・電子工学実験Ⅳ	
進級単位	100

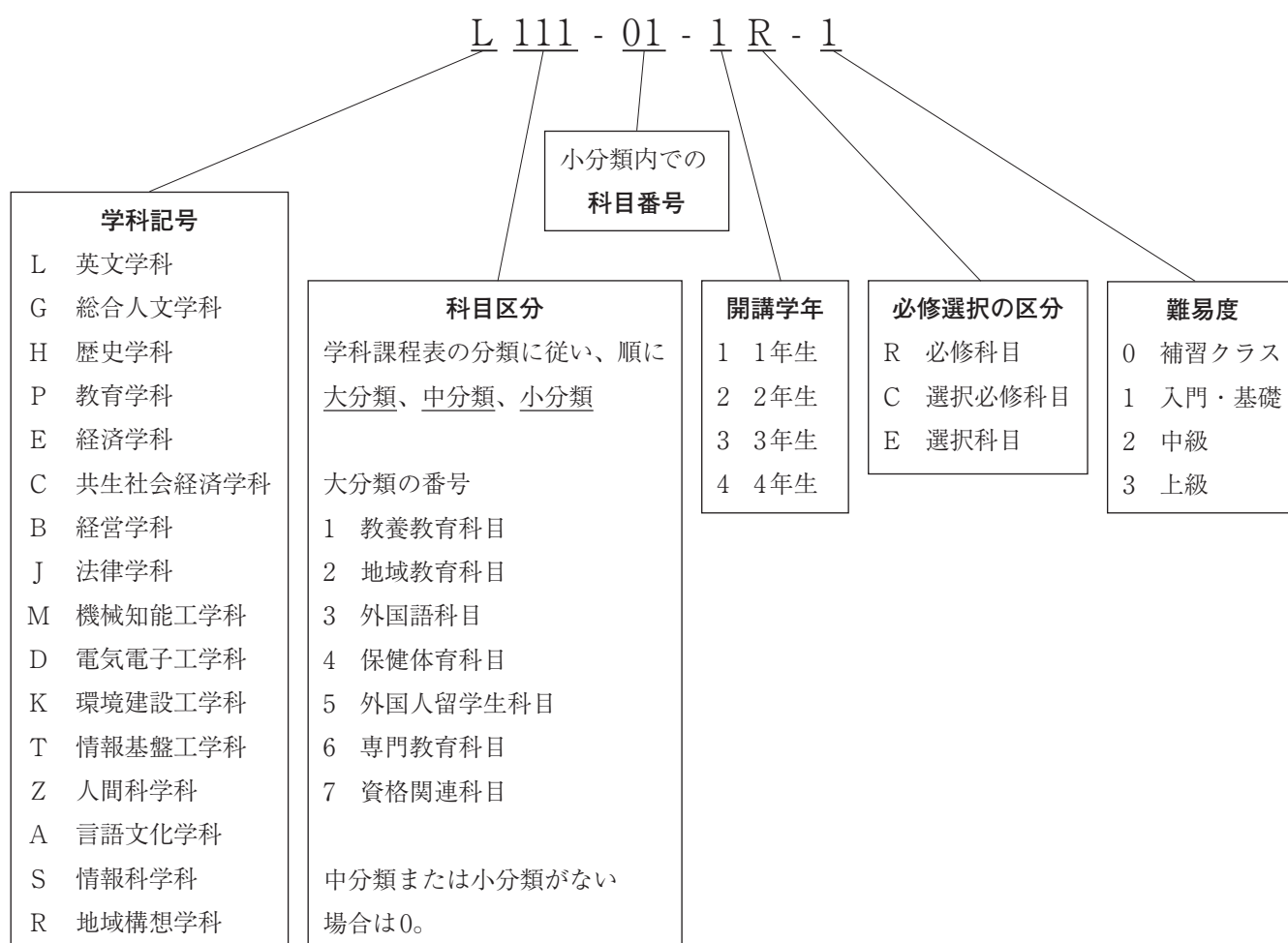
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)			
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えが 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる
D111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○	
D111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○	
D111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○	
D111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○	
D111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○	
D111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○	
D111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎	
D111-08-1E-1	地球社会を生きる			◎	
D111-09-1E-1	科学技術社会を生きる			◎	
D111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎	
D112-01-1E-1	クリティカル・シンキング		◎	○	
D112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎		
D112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎		
D112-04-1E-1	科学的思考の基礎		◎	○	
D112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○	
D112-06-1E-1	メディア・リテラシー		◎	◎	
D112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎		
D112-08-2E-1	研究・発表の技法		◎		
D121-01-2E-1	哲学			◎	○
D121-02-1E-1	芸術論			◎	○
D121-03-2E-1	歴史学			◎	○
D121-04-2E-1	心理学			◎	○
D121-05-2E-1	社会学			◎	○
D121-06-2E-1	経済学			◎	○
D121-07-2E-1	経営学			◎	○
D121-08-2E-1	法学			◎	○
D121-09-1E-1	日本国憲法			◎	○
D121-10-2E-1	東北地域論			◎	○
D122-01-2E-1	健康の科学			◎	○
D122-02-1E-1	生命の科学			◎	○
D122-03-1R-1	情報リテラシー			◎	○
D122-04-1R-1	フレッシュパーソンセミナー				◎
D122-05-1E-1	基礎数学演習			◎	○
D122-06-1E-1	基礎物理演習			◎	○
D122-07-1E-1	基礎化学演習			◎	○
D122-08-1E-1	技術者倫理			◎	○
D122-09-3E-1	知的所有権			◎	○
D200-01-1E-1	震災と復興			○	◎
D200-02-2R-1	地域の課題 I				◎
D200-03-2E-1	地域の課題 II				◎
D200-04-3E-2	地域課題演習				◎
D310-01-1R-1	英語 I A		◎	○	
D310-02-1R-1	英語 I B		◎	○	
D310-03-2R-2	英語 II A		◎	○	
D310-04-2R-2	英語 II B		◎	○	
D310-05-2E-2	英語コミュニケーションズ		◎	○	
D320-01-1E-1	ドイツ語		◎	○	
D320-02-1E-1	フランス語		◎	○	
D320-03-1E-1	中国語		◎	○	
D320-04-1E-1	韓国・朝鮮語		◎	○	
D330-01-1E-0	ベーシック英語		◎		
D330-02-3E-3	英語 III		◎	○	
D400-01-1E-1	体育講義			◎	
D400-02-1E-1	スポーツ実技			◎	
D510-01-1E-1	日本事情 A		◎	○	
D510-02-1E-1	日本事情 B		◎	○	
D510-03-1E-1	日本事情 C		◎	○	
D520-01-1E-1	日本語 I A		◎	○	
D520-02-2E-2	日本語 I B		◎	○	
D520-03-1E-1	日本語 II A		◎	○	
D520-04-2E-2	日本語 II B		◎	○	

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察が できる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
D610-01-1R-1	物理学 I		◎	○		
D610-02-2E-2	物理学 II		◎	○		
D610-03-1R-1	微分積分学 I		◎	○		
D610-04-1R-2	微分積分学 II		◎	○		
D610-05-1R-1	線形代数学		◎	○		
D610-06-1E-1	自然科学実験 ファンダメンタルズ		◎	○		
D610-07-2E-2	微分方程式		◎	○		
D610-08-2E-2	フーリエ解析		◎	○		
D610-09-2E-2	確率統計学		◎	○		
D610-10-1R-1	プログラミング基礎		○		◎	
D610-11-2E-2	プログラミング応用		○		◎	
D610-12-3E-2	工業英語		◎		○	
D610-13-2R-2	工学総合演習 I				○	◎
D610-14-3R-2	工学総合演習 II				○	◎
D610-15-3R-2	ジュニアセミナー				○	◎
D610-16-4R-1	卒業研究 I				○	◎
D610-17-4R-2	卒業研究 II				○	◎
D610-18-3E-1	学外見学			○	◎	
D610-19-3E-1	インターンシップ				○	◎
D610-20-3E-1	キャリア・デザイン				○	◎
D610-21-2E-2	海外研究 I			○		◎
D610-22-2E-2	海外研究 II			○		◎
D620-01-2R-2	電磁気学 I		○		◎	
D620-02-2R-2	電磁気学演習 I		○		◎	
D620-03-2R-2	電磁気学 II		○		◎	
D620-04-2E-2	電磁気学演習 II		○		◎	
D620-05-2R-2	電気回路学 I		○		◎	
D620-06-2R-2	電気回路学演習 I		○		◎	
D620-07-2R-2	電気回路学 II		○		◎	
D620-08-2E-2	電気回路学演習 II		○		◎	
D620-09-1R-1	電力・制御基礎工学		○		◎	
D620-10-1R-1	情報・通信基礎工学		○		◎	
D620-11-1R-1	電子・材料基礎工学		○		◎	
D620-12-3E-2	アナログ電子回路学		○		◎	
D620-13-3E-2	デジタル電子回路学		○		◎	
D620-14-2E-2	電気・電子基礎計測		○		◎	
D620-15-2R-1	電気・電子工学実験 I		○		◎	
D620-16-2R-1	電気・電子工学実験 II		○		◎	
D620-17-3R-2	電気・電子工学実験 III		○		◎	
D620-18-3R-2	電気・電子工学実験 IV		○		◎	
D631-01-2E-2	ベクトル解析		○		◎	
D631-02-4E-2	電波法		○		◎	
D631-03-4E-2	通信システム概論		○		◎	
D631-04-4E-2	電気法規及び施設管理		○		◎	
D631-05-4E-2	電気機械設計製図		○		◎	
D632-01-3E-2	制御工学		○		◎	
D632-02-3E-2	システム工学		○		◎	
D632-03-2E-2	ハードウェア工学		○		◎	
D632-04-3E-2	ソフトウェア工学		○		◎	
D632-05-2E-2	電子物性工学		○		◎	
D632-06-3E-2	電子機械工学		○		◎	
D641-01-3E-3	電磁エネルギー変換工学		○		◎	
D641-02-3E-3	パワーエレクトロニクス		○		◎	
D641-03-3E-3	高電圧工学		○		◎	
D641-04-3E-3	電力発生工学		○		◎	
D641-05-3E-3	電力系統工学		○		◎	
D641-06-4E-3	電力応用工学		○		◎	
D642-01-3E-3	情報通信工学		○		◎	
D642-02-3E-3	電磁波工学		○		◎	
D642-03-3E-3	音響通信工学		○		◎	
D642-04-3E-3	画像処理工学		○		◎	
D642-05-4E-3	ネットワークプログラミング		○		◎	
D642-06-3E-3	デジタル信号処理		○		◎	
D643-01-3E-3	固体物性工学		○		◎	
D643-02-3E-3	電気電子材料工学		○		◎	
D643-03-3E-3	ナノテクノロジー工学		○		◎	
D643-04-3E-3	電子デバイス工学		○		◎	
D643-05-4E-3	集積デバイス工学		○		◎	
D643-06-3E-3	化学材料工学		○		◎	

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
D650-01-1E-1	特別講義		◎	○		
D701-01-4R-2	工業技術概論			○	◎	
D701-02-4R-2	工学系の職業指導			○	◎	
D701-03-4R-2	電気電子系の職業指導			○	◎	
D702-01-1R-2	現代教職論			◎		
D702-02-1R-2	教育原理			◎		
D702-03-2R-2	教育心理学			◎		
D702-04-2R-2	教育課程論			◎		
D702-05-3R-2	教科教育法Ⅰ(工業)			◎		
D702-06-3R-2	教科教育法Ⅲ(工業)			◎		
D702-07-3R-2	特別活動の理論と方法			◎		
D702-08-2R-2	教育方法			◎		
D702-09-2R-1	教育の相談と指導Ⅰ			◎		
D702-10-2R-2	教育の相談と指導Ⅱ			◎		
D702-11-4R-2	教育実習Ⅰ			○		◎
D702-12-4R-2	教職実践演習(中・高)			○		◎

電気情報工学科課程表 (平成25 (2013) 年度入学者より適用)

※開講学年前期後期欄 { ○○-前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄-開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												資格		備考			
			1 年			2 年			3 年			4 年			必修					
			前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位						
教 養 教 育 科 目	第1類	人間的基礎	聖書を学ぶ	●		2											◎	◇電気情報工学科を卒業し、学士号を得るためには124単位以上を修得しなければならない。 4科目のうち1科目2単位を必修とする。計4単位まで卒業単位に算入することができる。 「人間的基礎」から10単位以上を修得すること。		
			キリスト教の歴史と思想		●	2											◎			
			キリスト教A (キリスト教と倫理)											2					◎	
			キリスト教B (キリスト教と宗教)										2							
			キリスト教C (キリスト教と文化)										2							
		キリスト教D (キリスト教と現代社会)										2								
		市民社会を生きる	●		2															
		地球社会を生きる	●		2															
		科学技術社会を生きる	●		2															
		キャリア形成と大学生活	●		2															
	知的基礎	クリティカル・シンキング	●		2													「知的基礎」から10単位以上を修得すること。		
		数理的思考の基礎	●		2															
		統計的思考の基礎	●		2															
		科学的思考の基礎	●		2															
		情報化社会の基礎	●		2															
		メディア・リテラシー	●		2															
		読解・作文の技法	●		2															
		研究・発表の技法				●		2												
		第2類	人文社会	哲 学				●		2										「人文社会」から10単位以上を修得すること。
				芸 術 論	●		2													
	歴 史 学						●		2											
	心 理 学						●		2											
	社 会 学						●		2											
	経 済 学					●		2												
	経 営 学						●	2												
	法 学						●	2												
	日 本 国 憲 法			●	2										◆必修					
	東 北 地 域 論						●		2											
自然科学	健 康 の 科 学					●		2								「自然科学」から10単位以上を修得すること。				
	生 命 の 科 学		●	2																
	情 報 リ テ ラ シ ー	●		2									◆必修	◎						
	震 災 と 復 興					●		2												
	フレッシュパーソンセミナー	●		1										◎						
	基礎数学演習	●		1																
	基礎物理演習		●	1																
	基礎化学演習	●		1																
技術者倫理		●	2																	
知 的 所 有 権								●		2										
外国語科目	第1類	英 語 I A	●		1										◎	「第1類」から必修4単位を修得すること。 週2回開講 週2回開講 週2回開講 週2回開講 週2回開講				
		英 語 I B		●	1										◎					
		英 語 II				●		2							◎					
		英語コミュニケーションズ					●	2						◆必修						
	第2類	ド イ ツ 語	●		2															
		フ ラ ン ス 語		●	2															
		中 国 語	●		2															
韓 国 ・ 朝 鮮 語		●	2																	
保健体育科	体 育 講 義		●	2										◆	教員免許状取得には2単位以上を修得すること。					
	ス ポ ー ツ 実 技	●	●	2										◆						
外国人留学生科目	第1類	日 本 事 情 A			2										外国人留学生は、次により10単位までを外国人留学生科目の単位で代えることができる 日本事情Aは、教養教育科目第2類の人文社会2単位 日本事情Bは、教養教育科目第2類の自然科学2単位 日本事情Cは、保健体育科目の「体育講義」2単位 日本語Iは「英語IA」と「英語IB」の合計2単位 日本語IIは「英語II」の2単位					
		日 本 事 情 B			2															
		日 本 事 情 C			2															
	第2類	日 本 語 I			2															
		日 本 語 II						2												

区分	科目名	開講期	開講学年												資格		備考	
			1年			2年			3年			4年			必修			
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位				
教育職員免許状の教科に関する科目	工業技術概論	半期												●		2	◆必修	
	工学系の職業指導	半期												●		2	◆必修	
	電気情報系の職業指導	半期													●	2	◆必修	
教職等に関する科目	現代教職論	半期	●		2												◆必修	
	教育原理	通年	●	●	4												◆必修	
	教育心理学	半期				●	2										◆必修	
	教育課程論	半期				●	2										◆必修	
	教科教育研究Ⅰ(工業)	半期						●	2								◆必修	
	教科教育研究Ⅲ(工業)	半期							●	2							◆必修	
	特別活動研究	半期							●	2							◆必修	
	教育方法	半期				●	2										◆必修	
	教育の相談と指導Ⅰ	半期				●	2										◆必修	
	教育の相談と指導Ⅱ	半期				●	2										◆必修	
	教育実習Ⅰ	通年											●	●	3		◆必修	
教職実践演習(中・高)	半期												●	2		◆必修		

卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	第1類	人間的基礎	10	40
		知的基礎	10	
	第2類	人文社会	10	
		自然科学	10	
外国語科目	第1類	4	4	
学部共通専門科目			28	28
学科専門科目	電気・電子共通科目		26	52
	基盤科目		12	
	応用科目			
外国語科目、保健体育科目、他学部・他学科開講専門教育科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目 (合計8単位まで)			14	14
卒業単位				124

4年次進級に必要な最低修得単位数

教養教育科目	40
外国語科目	
学部共通専門科目	22
学科専門科目 (以下の必修科目を含むこと)	38
1 電気・電子工学実験Ⅰ	
2 電気・電子工学実験Ⅱ	
3 電気情報工学実験Ⅰ	
4 電気情報工学実験Ⅱ	
進級単位	100

電気情報工学科 履修順序表（平成 25（2013）年度入学生より）

No.1

(◎は必修科目、○は選択必修科目、※は開講期未定)

		1 年		2 年		3 年		4 年		
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
教 養 育 科 目	第 1 類	人間的基礎	◎聖書を学ぶ	◎キリスト教の歴史と思想			○※キリスト教学A (キリスト教と倫理)	○※キリスト教学B (キリスト教と宗教)		
							○※キリスト教学C (キリスト教と文化)	○※キリスト教学D (キリスト教と現代社会)		
			市民社会を生きる							
			地球社会を生きる							
			科学技術社会を生きる							
		知的基礎	キャリア形成と大学生活							
	クリティカル・シンキング									
	数理的思考の基礎									
	統計的思考の基礎									
	科学的思考の基礎									
		情報化社会の基礎								
		メディア・リテラシー								
		読解・作文の技法		研究・発表の技法						
	第 2 類	人文社会	芸 術 論	日本国憲法	哲 学	経 営 学				
				歴 史 学	法 学					
				心 理 学	東 北 地 域 論					
				社 会 学						
				経 済 学						
	類	自然科学	◎情報リテラシー	生命の科学		健康の科学	知的所有権			
			◎フレッシュパーソンセミナー	基礎物理解演習		震災と復興				
			基礎数学演習	技術者倫理						
			基礎化学演習							
外国語科目	第1類	◎英語 I A	◎英語 I B	◎英語 II	英語コミュニケーションズ					
	第2類	ドイツ語	フランス語							
		中国語	韓国・朝鮮語							
保健体育科目			体育講義							
			スポーツ実技							
外国人留学生科目	第1類	※日本事情A	※日本事情C							
		※日本事情B								
	第2類	※日 本 語 I	※日 本 語 II							

※本表は、各科目の標準的な開講時期を表したものである。前期後期の開講時期は変更される場合があるため、時間割で確認のこと。
 ※教養教育科目、外国語科目第2類、保健体育科目には科目間の履修の順序は規定されない。

電気情報工学科 履修順序表

No.2

(◎は必修科目、○は選択必修科目、※は開講期未定)

		1 年		2 年		3 年		4 年	
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期
学 部 共 通 専 門 科 目			◎物理学 I	物理学 II					
		◎微分積分学 I	◎微分積分学 II						
			◎線形代数学	常微分方程式	フーリエ解析および偏微分方程式				
					確率統計学				
			◎コンピュータプログラミング	プログラミング応用					
					◎工学総合演習 I	◎工学総合演習 II			
						工業英語			
							◎ジュニアセミナー		
								◎卒業研究 I	◎卒業研究 II
								学外見学	
						インターンシップ			
						キャリア・デザイン			
		自然科学実験ファ undamentals							
			海外研究 I	海外研究 II					
学 科 専 門 科 目	電 気 ・ 電 子 共 通 科 目		◎電磁気学 I	◎電磁気学 II					
			◎電磁気学演習 I	電磁気学演習 II					
			◎電気回路学 I	◎電気回路学 II					
			◎電気回路学演習 I	電気回路学演習 II					
				◎電子回路学基礎					
				電子回路学基礎演習					
			◎電気・電子工学実験 I	◎電気・電子工学実験 II					
				◎電気・電子基礎計測					
							コンピュータ工学		
				◎電子工学基礎			電気・電子材料工学		
			◎電力工学基礎			◎制御工学			
	基 盤 科 目			◎基礎情報工学					
				◎基礎通信工学					
				実践工業数学					
				シミュレーション概論					
						◎電気情報工学実験 I	◎電気情報工学実験 II		
					アナログ電子回路				

電気情報工学科 履修順序表

No.3

(◎は必修科目、○は選択必修科目、※は開講期未定)

		1 年		2 年		3 年		4 年			
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
学 科 専 門 科 目	基 盤 科 目					◎デジタル電子回路基礎	デジタル電子回路設計				
							システム工学				
	応 用 系	情 報 通 信 系			伝送工学		電磁波工学	電波法			
						情報通信工学	通信システム工学	情報セキュリティ工学			
							通信ネットワーク				
						マルチメディア工学					
	科 目 系	電 力 系					電磁エネルギー変換工学				
							パワーエレクトロニクス				
							高電圧工学				
							電力発生工学	電力システム工学	電力応用工学		
							電気機械設計製図				
		※特別講義									
教育職員免許状の教科に関する科目								工業技術概論			
								工学系の職業指導	電気情報系の職業指導		
教職等に関する科目		現代教職論		教育課程論	教育心理学	教科教育研究Ⅰ(工業)	教科教育研究Ⅲ(工業)	教 育 実 習 Ⅰ			
		教 育 原 理			教 育 方 法	特別活動研究			教職実践演習(中・高)		
				教育の相談と指導Ⅰ	教育の相談と指導Ⅱ						